



《将来に向けた取組方針》

小野薬品は、「病氣と苦痛に対する人間の闘いのために」という企業理念のもと、革新的な医薬品の創製を行っています。これら事業活動を行ううえで、生態系に及ぼす影響を認識するとともに、生物多様性や気候変動などの環境課題の解決に取り組んでいます。持続可能で豊かな社会の実現のため、製品の研究・開発・調達・生産・流通・販売・使用・廃棄にわたる全ての段階において、生物多様性に配慮した活動を行います。さらに全従業員への教育を行うとともに、ステークホルダーと協働し、課題解決に向けて取り組みます。

〈具体的取組み事例〉

生物多様性保全や自然環境保護のため、資源とエネルギーの効率的な使用、水の効率的利用と適切な排水管理、廃棄物の削減、リサイクルの推進、汚染の予防などに取り組んでいます。

【主な取り組み】

- ・太陽光発電の導入
- ・屋上の緑化
- ・再利用水設備の導入
- ・カルタヘナ法への対応
- ・廃棄物の3Rの推進
- ・プラスチック使用量削減（製品包装箱変更、紙製ファイルの導入など）
- ・主要拠点における環境保全清掃活動の推進



富士山5合目付近での清掃

学んだこと・成果等

我々製薬企業は生命関連企業であり、生物多様性を意識して事業を行う必要がある。取り組みを通じて、生物多様性保全に努めることの重要性の再認識につながり、社内において各部門で、様々な取り組みの提案がうまれている。

〈今後の課題等〉

事業の拡大により、生態系への影響が増大していくことが予想されることから、環境課題解決に向けた取り組みを加速させる必要があると感じている。

【主な課題】

- ・脱炭素
- ・プラスチック使用量削減
- ・水使用量削減
- ・廃棄物削減
- ・豊かな土壌環境の向上

〈社会に向けたメッセージ〉

循環社会形成による環境負荷低減を通して、生物多様性保全を推進します。